

# LEDZARD TC 取付け・取扱い説明書

## for TOYOTA GR ヤリス

この度は、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

本書はリ・ザード TC の取扱い、及び取付け作業について記載してあります。

取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。

本説明書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。

車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備要領書等をご確認の上、車両に適した手順で作業を行って下さい。

### 安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

**警告**、**注意**、**注記**、**アドバイス** のところは、とくにしっかりお読み下さい。

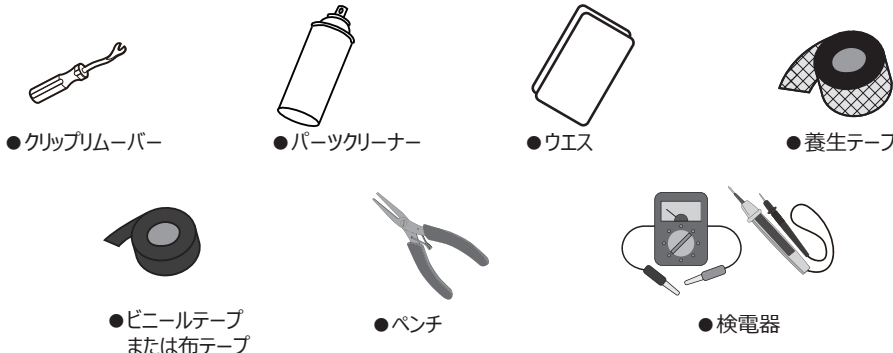
<b>警告</b>	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
<b>注意</b>	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
<b>注記</b>	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
<b>アドバイス</b>	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

### 適用車種および適用年式

### トヨタ GR ヤリス 専用品

年式	型式
2020/1 ~ 2024/02	GXPA16/MXPA12 型

### 推奨準備工具



### 取付け準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付け作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付け作業の前に、必ずバッテリーの (-) 側コードを外して下さい。また (-) 側コードは (+) 側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品数量が取付け説明書通りになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておく、後の調整がスムーズに行えます。

### 取扱い方法

1. 車両のスマールスイッチに連動して点灯/消灯します。

本製品はドレスアップを目的に  
製作されたLED製品です

取付け動画は  
こちらから

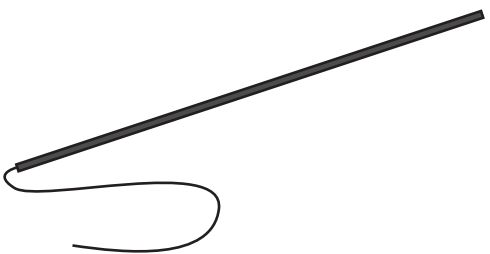
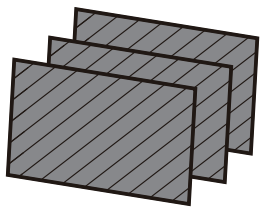
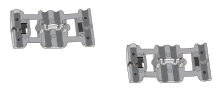
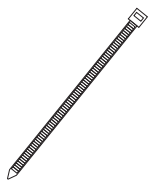

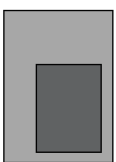
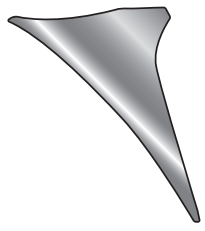



## 完成図全体像



## 構成部品

※部品が全てあるか確認して下さい。  
保証説明書は必ず付属していますので確認して下さい

			
リ・ザード本体 ×1	配線固定クッションテープ ×3	白タップ ×2	結束バンド ×1
			
電源ハーネス ×1	防水ブチルテープ ×1	側面用ダイノックシール ×1	製品保証書 ×1

### お取付前に

右図を参照し、テスター等で12ボルト以上の電圧が供給されている配線を確認してから、結線作業を行って下さい。



### ⚠ 配線の処理に関して注意

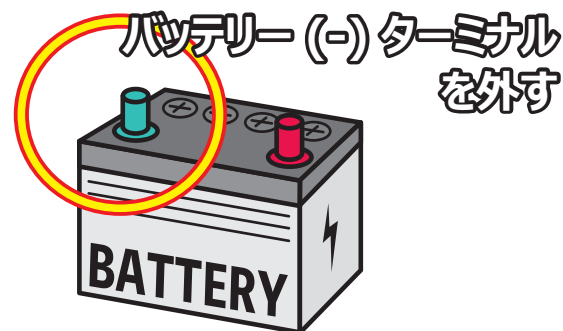
余った配線を束ねたり(結束バンド等)、発熱する場所に固定すると、配線の断線や溶解など様々な不具合の原因になります。

## 取外し

### ①バッテリー (-) ターミナルを外す

車両整備書を参考にして正しい手順でバッテリー (-) ターミナルを外します。

画像 1



### ②内装バックパネル取外し

車両整備書を参考にして正しい手順で画像2 ○印部分のクリップを外します。

画像 2



画像2-2を参考に、プラスチック部分を引いて外して下さい。

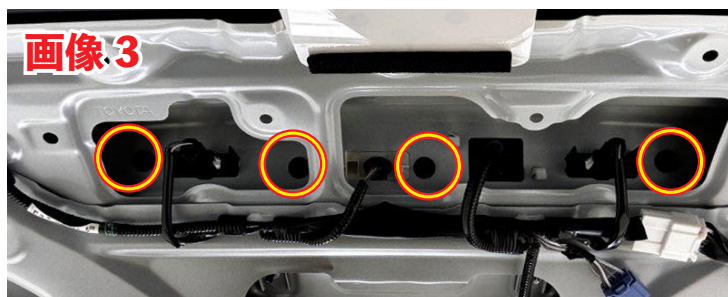
画像 2-2



### ③リヤガーニッシュを外す

車両整備書を参考にして正しい手順でガーニッシュ背面部(画像3 ○印部分)にある10mmネジを4か所外して下さい。

画像 3



画像3-2を参考に、車体が傷つかないように養生テープ等で保護します。

画像 3-2



#### ⚠ 注意

画像3-2はあくまでも参考です。  
傷がつく恐れのある箇所には、スキルや環境に合わせて適宜しっかりと保護作業をして下さい。

画像3-3を参考に、リヤガーニッシュを車両後方へ引ながら外して下さい。

画像 3-3



#### ④通線部の確保

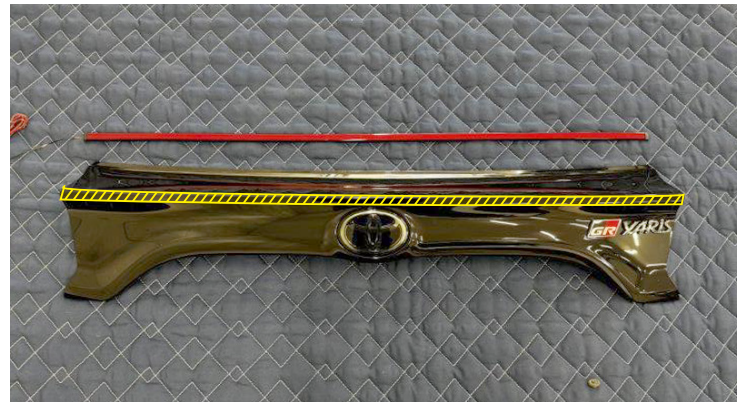
画像4 ○印部分を参考に、  
トランク左側のゴムキャップを外します。

#### ⚠ 注意

取外したゴムキャップは再利用しませんが  
紛失しないよう大切に保管して下さい。



#### 画像 5



## 取付け

#### ⑤LEDZARD TC本体の取付け【共通作業】

画像5、黄色斜線部を参考に、  
LEDZARD TC本体貼付け面の清掃脱脂を行って下さい。

#### 👉 アドバイス

汚れが残っていると剥がれやすくなります。  
しっかり清掃と脱脂を行って下さい。

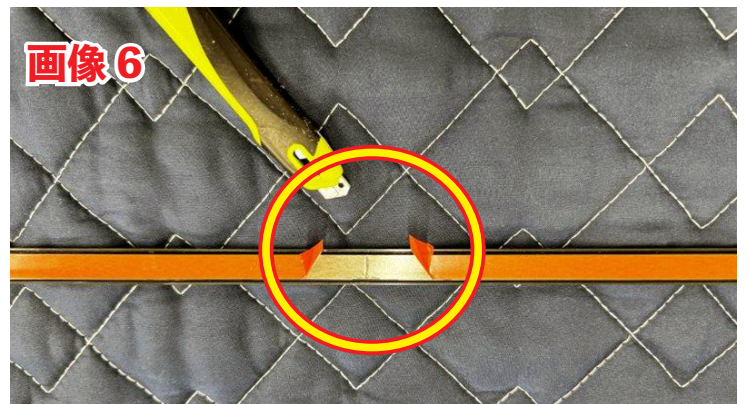
#### ⑥リヤガーニッシュへ貼付ける

画像6 ○印部分を参考に、LEDZARD TC本体の  
ちょうど中心位置で、剥離フィルムをカッター等でカットして下さい。  
貼り付けやすいように、剥離フィルムを左右に少し開いておきます。

#### ⚠ 注意

カッターを深く入れると本体を傷つける恐れがあります。  
剥離フィルムのみを切るようにして下さい。

画像6-2を参考に、LEDZARD TC本体をリヤガーニッシュに置き、  
リヤガーニッシュに収まるように左右のバランスを取ります。  
貼付け位置を決めたら、画像6で剥がした本体中心部分の  
両面テープをリヤガーニッシュに圧着します。  
しっかり中心を圧着できたら、片側ずつ剥離フィルムを剥がしながら  
本体をリヤガーニッシュに圧着していきます。



本体を中心に合わせ、剥離フィルムを  
両側に引き出しながら本体を中央から圧着する

## ⑦フィルムハーネスの処理

画像7を参考に、フィルムハーネスがよじれないように広げます。

画像7-2を参考に、フィルムハーネスの配線側から剥離紙を剥がします。

画像7-3と同じ位置になるように、裏面の両面テープで**ガーニッシュ側面に沿うように**貼ります。

### 👉 アドバイス

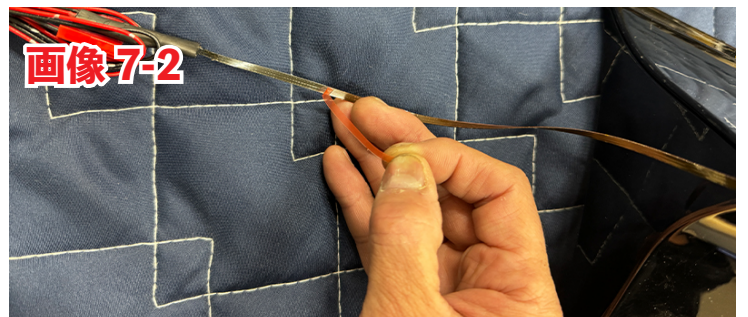
フィルムハーネスを貼付ける際、配線が邪魔になる場合は画像7-4のようにまとめて仮固定しておくと、フィルムハーネスを貼付けやすいです。

画像7-5 ○印部分に側面用ダイノックシートを発光面の頂点側から貼付けます。

画像7-6を参考に、側面に添って、全体を覆うように貼付けます。



画像7

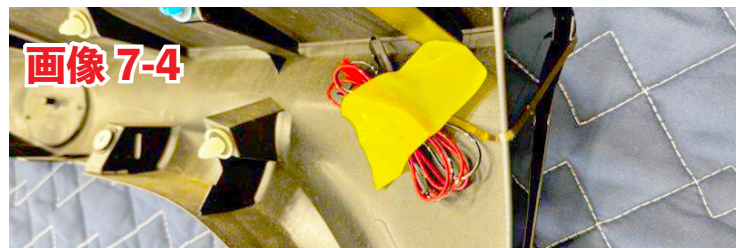


画像7-2



画像7-3

ガーニッシュ側面の湾曲に沿って貼付ける

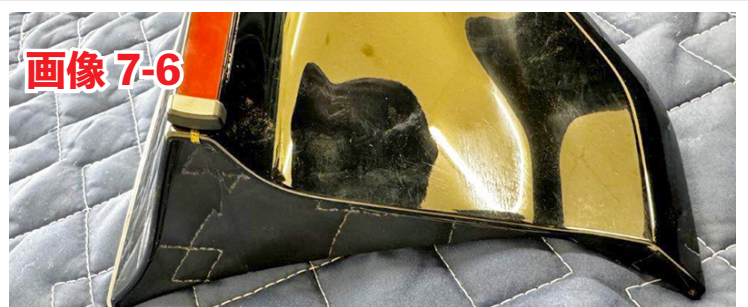


画像7-4



画像7-5

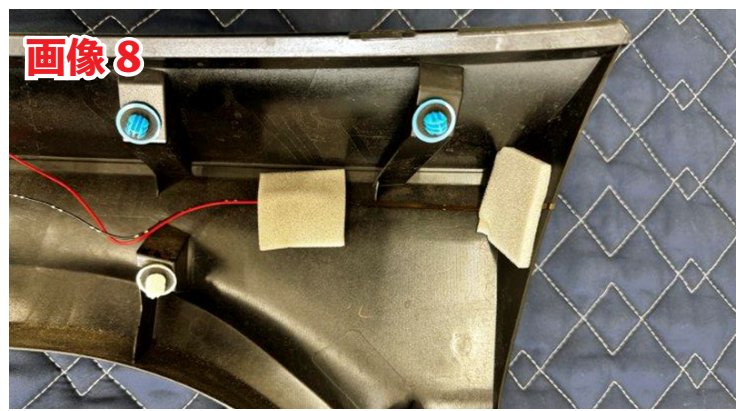
LEDZARD TC 発光面側の頂点から  
少しずつ貼付けていく



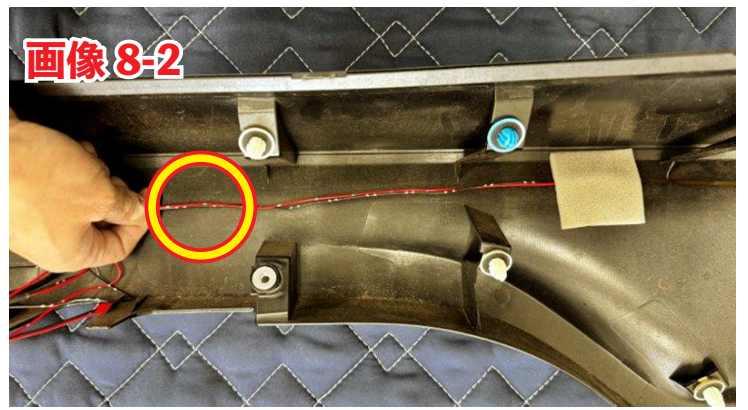
画像7-6

### ⑧リヤガーニッシュ背面部の処理

画像8を参考に、配線 2ヶ所をクッションテープで固定します。

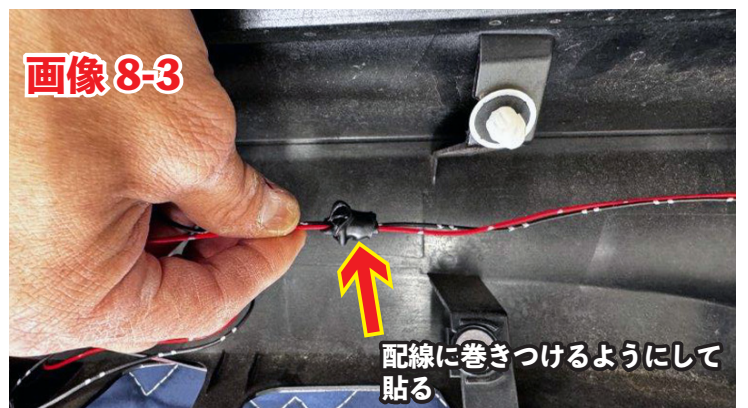


画像 8-2



画像8-2を参考に配線を伸ばし、○印部分に防水プチルテープを巻きつけるように貼ります(画像8-3参照)。

画像 8-3



### ⑨本体配線の配策

本書3P、画像4で外したゴムキャップ部分から画像9を参考に本体配線を車内に引き込んで下さい。



画像 9-2

画像9-2を参考に、画像8-3で巻きつけた防水プチルテープでゴムキャップホールをしっかり塞ぐように、配策して下さい。



画像9-3を参考に配線固定用クッションテープを表面に貼り付けて下さい。

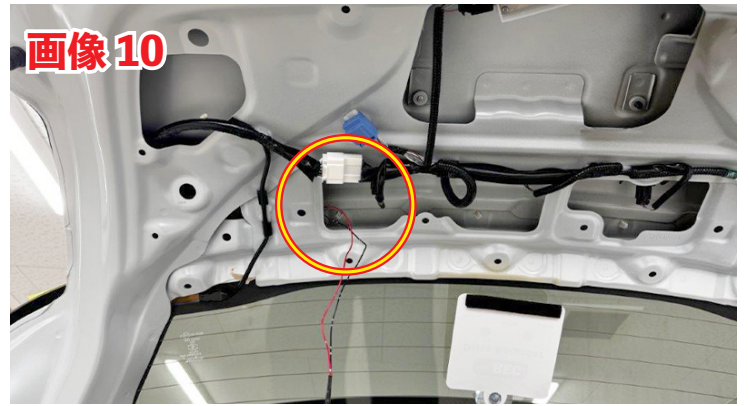
画像 9-3



⑩リヤガーニッシュを車体に装着する

リヤガーニッシュを車体に装着して下さい。

画像10 ○印部分から車内側に引き込んだ配線を出して下さい。



画像11

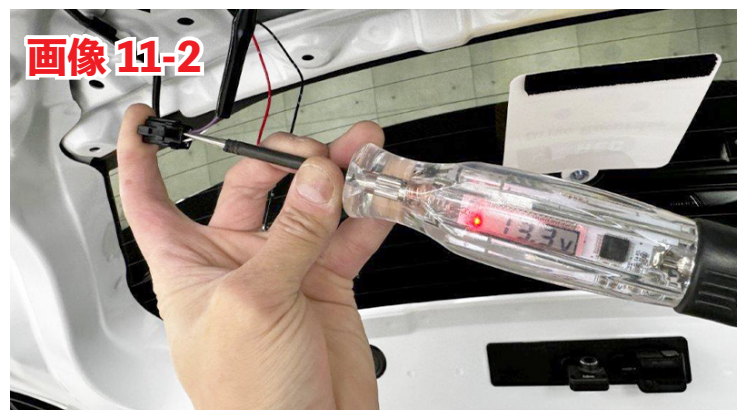
⑪電源ハーネスを装着する

画像11を参考にナンバー灯のコネクタを外して下さい。



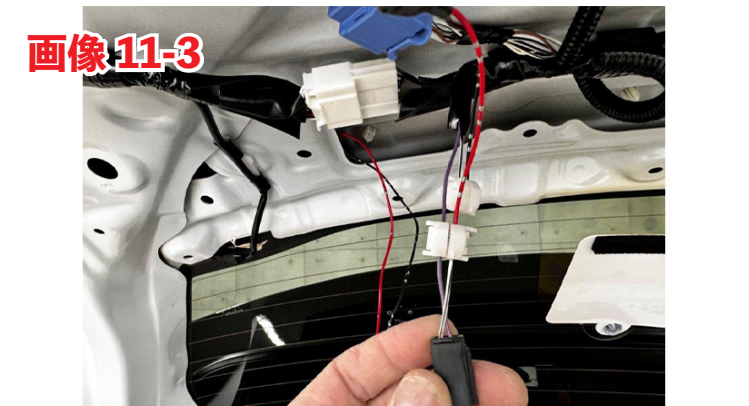
画像11-2

画像11-2を参考に、外したコネクタの配線へ検電テスターを用いて  
**スモール時に12V以上が流れる配線**  
を確認して下さい。



画像11-3

付属の白タップを、  
**スモール12Vプラス(+)**線に電源線の赤線、  
コネクタ逆側の配線(**アース線**)に**黒線**を結線します。  
(画像11-3参照)



画像11-4

白タップで結線した箇所を画像11-4を参考に  
ビニールテープ等を巻いて保護して下さい。



## ⑫電源ハーネスの接続及び配線処理

製品本体のハーネスと電源ハーネスを接続して下さい。  
(画像12)

画像12-2を参考に、余った配線を付属の結束バンドでまとめ、  
ナンバー灯のコネクタを復元して下さい。

### ⚠ 注意

結束バンドで配線をまとめる際は、状況等に応じて  
適切な方法で作業をするようにして下さい。  
(画像12-2はあくまでも参考です。)  
不適切な方法で作業すると、断線など  
思わぬ不具合につながる場合があります。

画像12



画像12-2



## ⑬点灯確認

車両のスマールランプを点灯させます。

正常に点灯しているか確認して下さい。  
(画像13参照)

画像13



## ⑭車両の復元

車両整備書に沿って取外した部品をすべて復元し、  
正常に動作するか確認を行って下さい。

画像12-4

